

関市議会 議会運営委員会 視察報告書

1 視察日程 平成30年10月3日（水）～ 10月4日（木）（2日間）

2 視察事項 富山県滑川市
・議会傍聴啓発ポスターについて
・土曜議会について
・近年の議会改革・活性化の取組について
新潟県長岡市
・議会施設について
・親子傍聴席について
・近年の議会改革・活性化の取組について

3 参加者 委員長 長屋 和伸
副委員長 松田 文男
委員 土屋 雅義
委員 村山 景一
委員 田中 巧
委員 鵜飼 七郎
委員 幅 永典
委員 小森 敬直
議長 山藤 鉦彦
随 行 林 良広（議会事務局）

| | |
|---------|--|
| 視察No. 1 | ・ 議会傍聴啓発ポスターについて ・ 土曜議会について ・ 近年の議会改革・活性化の取組について |
| 訪問日時 | 平成30年10月3日（水） 午後1時15分 ～ 午後2時45分 |
| 訪問先 | 所 在 富山県寺家町104 名 称 滑川市議会 担当部署 議会事務局 |

説明内容（概要）

滑川市議会は、平成24年から議会改革の一環として議会基本条例及び議員政治倫理条例の制定を進めてきた。平成26年11月、議会改革検討特別委員会を設置し、協議等を重ね、平成28年に議会基本条例、平成29年に議員政治倫理条例を制定した。また、議会の見える化、開かれた議会を推進するため、平成29年12月、広報広聴委員会を設置し、議会傍聴者を増やす取組として、「議会傍聴啓発ポスターの作成」、「土曜議会の開催」を実施しており、その他に「滑川高校生との懇談会」、「もっと身近に市議会を「なめりかわ視議会 in エール」」など、特色ある議会改革に取り組んでいる。

主な具体的な取組は、次のとおりである。

1 議会傍聴啓発ポスターの作成

議会傍聴者を増やす方策の一つとして、当初、議会事務局職員が作成した文字のみの傍聴啓発ポスターを市役所などの公共施設に掲示していたが、より親しみやすいものとするため、イラスト入りポスターの作成を検討した。滑川市内には2つの中学校があることから、各中学校の美術部にポスターの図案作成を依頼し、平成28年12月定例会からイラスト入りポスターを公共施設のほか、ショッピングセンターにて、年4回の定例会毎にイラストを変えて掲示し、啓発を行っている。

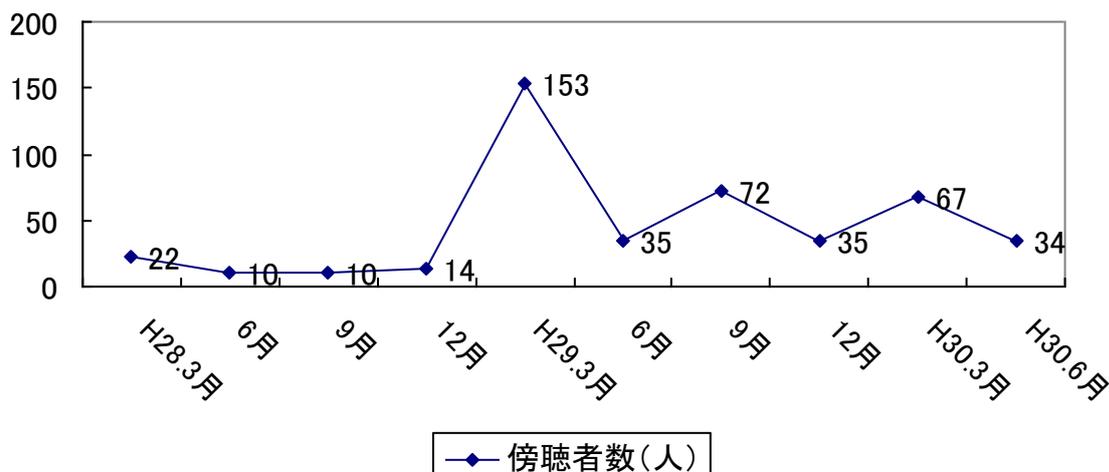
また、中学生が作成したイラストは、傍聴啓発ポスターのほか、議会報告会の宣伝用ポスターやチラシにも活用している。

なお、中学生がポスター作成に携わることは、若者の議会や選挙に対する意識を高める機会になると考えている。

2 土曜議会の開催

平成29年3月11日、滑川市議会初の試みとして土曜議会を開催した。土曜議会は市民に関心のある一般質問（3日目）とし、傍聴者は例年の21倍にあたる92人が傍聴に訪れた。なお、第2回の土曜議会は平成30年3月10日に開催、傍聴者は42人であった。第1回の傍聴者が増大した要因としては、当時、滑川市の観光事業の「ほたるいか海上観光」が中止となり、市民の関心が高かったことが考えられる。なお、第1回の土曜議会開催後は、傍聴者が増加傾向となっている。

○傍聴者数の推移（定例会別）



3 近年の議会改革・活性化の取組について

(1) 滑川高校生との懇談会

平成29年3月の土曜議会では、市議会からの傍聴の呼びかけにより、滑川高等学校の生徒14名が傍聴したことを機会に、将来を担う高校生に議会や政治への関心を高めてもらうため、また、議員が高校生の夢や希望、抱える悩みなどを認識し、滑川市を魅力あるまちにするため、滑川高校生との懇談会を実施した。

第1回目は、平成29年7月に滑川高校の2・3年生の生徒7名と議会報編集委員が、「市議会や議員のイメージ」、「市議会に求めていること」をテーマに懇談した。第2回目は、平成30年7月に開催し、滑川高校の1・2年生の生徒20名と全議員14名が4グループに分かれ、「市議会」、「滑川市」、「18歳選挙権」をテーマに懇談した。貴重な意見を得られる機会であることから、来年度以降も懇談会を実施する予定である。

(2) もっと身近に市議会を「なめりかわ視議会 in エール」

市民の市政への関心を高めることを目的に、平成30年3月定例会から、各定例会の開会に合わせ、滑川市内のショッピングセンター・エール内の特設会場において1か月程度、議員の等身大パネルを設置するとともに、市議会資料（市議会傍聴のしおり、議会広報など）の配布・展示を行っている。パネルには、議員の氏名、年齢、所属会派、趣味や定例会での質問事項などを掲示している。また、会場には特設モニターを設置し、ケーブルテレビによる議会の生中継を実施している。エールは、会場設営を行い、市議会は、市議会資料の作成・設置及びパネルに掲示するデータをエールに提供している。なお、パネル製作費として、全議員が1万円出資している。

この取組は、市議会側の主催ではなく、エールから企画の申し入れに対し、市議会が協力する形で実施している。企画への協力に際しては、広報広聴委員会で協議を行い、商業施設ではなく、公共施設で行うべきではないかなどの意見もあったが、多くの市民に市議会を知ってもらうよい機会となることから、企画に協力することとなった。

主な質疑応答

- 質問 高校生との懇談会開催にあたり、学校との調整はどのようにしているか。
回答 従来から議会と学校、議員と教員との関わりも多くあることから、これまでも議会からの提案について学校から断られることはほとんど無く、懇談会も開催できた。
- 質問 高校生との懇談会は、休日に開催しているのか。
回答 テスト期間中は開催しないようにしている。開催日は、学校と相談し、平日の午後からの授業が無い日に開催している。
- 質問 高校生との懇談会で出された意見や要望は、どのように反映しているのか。
回答 懇談会のテーマの一つである「中滑川駅の活性化について」では、「勉強が出来るスペースが欲しい」、「イートインが出来るようにして欲しい」など、生徒から出された意見や要望は、滑川駅周辺整備検討特別委員会が作成した提言集に反映し、市長に提出している。
- 質問 高校生との懇談会で生徒から将来、市議会議員になりたいという感想はあったか。
回答 懇談会のテーマでなかったこともあり、将来、市議会議員になりたいという感想は聞いていない。平成29年11月の市議会議員選挙は無投票ではあったが、年齢別の議員数をみると、議員14名中、30代が2名、40代が3名となっており、議員のなり手不足は全国的な課題はあるが、滑川市は、若い議員が生まれていると考えている。
- 質問 議会報告会の開催状況は。
回答 平成28年9月に議会基本条例を制定して以来、議会報告会を平成29年4月と平成30年4月の計2回開催しているが、市民、議員共に議会報告会にまだ慣れていない状況である。
- 質問 土曜議会は、今後も継続するのか。
回答 議会の見える化という観点から考えると、土曜日や日曜日に議会を開催することは良いことではないかと考えている。また、夜間に議会を開催することも考えられる。全国での土曜議会の例をみると、土曜日に議会を開催することだけでは、傍聴者数は段々と減少するという傾向がある。土曜議会の開催以外に、各議員が議会での質問について、どのようにして練り上げ、工夫していくかということが一番大事であると考えている。
- 質問 ショッピングセンターエールでのパネル展示について、経緯は。
回答 パネル展示の実施については、平成29年の市議会議員選挙が無投票であったことも関連している。告示日に選挙が終わってしまったことから、選挙公報も発行しなかったため、候補者が何を主張しようとしたのか分からないと

ということもあり、エールからの企画の申し入れがあったものである。

質問 議会の見える化、開かれた議会の取組を通しての感想は。

回答 市議会への関心が高まっているかどうかは不明であるが、高校生との懇談会では「議会は何をしているのかわからない」という意見が多くあった。議会としては、議員活動の他に、議会だよりの発行、土曜議会の開催、エールでのパネル展示など取り組んでおり、議会が見えるところまでは来ていると思っている。問題は、市民に見ていただけるかどうかという点である。

調査結果のまとめ

- ・ 議会傍聴啓発ポスターの図案作成を中学生に依頼することは、早くから議会に興味を持ってもらえる良い機会であると思った。中学生に限らず、広く市民にポスター図案を募集するとより効果的ではないかと思った。
- ・ 議会傍聴啓発ポスターの図案作成を中学生に依頼する場合は、初めに市議会の役割や啓発ポスターを作成する目的などについて説明し、議会に関する理解を深めた後に図案を作成するとさらに良いポスターになるのではないかと思った。
- ・ 議会傍聴啓発ポスターの取組は、傍聴者を増やすための一つの手段であるが、市民の議会への関心を高めるという根本的な課題を解消することは難しいと思った。
- ・ 土曜議会は、第1回目の開催以後、傍聴者数は大きく減少しているが、土曜議会を境に平均傍聴者数は増加傾向となっていることから、市民が議会に関心を持つきっかけになったのではないかと思った。
- ・ 土曜議会は、他の議会でも開催している例があることから、開催する、しないは別として、関市議会においても開かれた議会の方向性について考えることは良いのではないかと思った。
- ・ 土曜日に議会を開催することにより、傍聴できる機会を増やすことは良いと思うが、第1回目の開催以後、傍聴者数が減少しているということは、市民は議会の内容について関心があるということの表れであり、土曜日に議会を開催することのみで、市民の関心を高めることは難しいと感じた。
- ・ 土曜議会は、休日に議会を開催することから、議会に出席する幹部職員以外に、関係職員が待機のため休日出勤している。休日勤務手当等の費用もかかることから、費用対効果を考えると休日に議会を開催することに疑問を感じた。
- ・ 関市議会では、平成30年8月に中学生リーダー養成研修会「市議会を学ぶ」を開催し、参加した中学生から様々な意見を聞くことができた。滑川市議会は高校生と

の懇談会を開催しており、関市議会も高校生との懇談会の実施について検討すると良いと思った。

- ・ 関市内には3つの高校と2つの大学があることから、主権者教育を進めるという点でも、高校生や大学生との懇談会を開催することも必要であると感じた。

- 視察No. 2
- ・ 議会施設について
 - ・ 親子傍聴席について
 - ・ 近年の議会改革・活性化の取組について

訪問日時 平成30年10月4日（木） 午前9時30分～午前11時20分

訪問先 所 在 新潟県長岡市大手通1-4-10
名 称 長岡市議会
担当部署 議会事務局

説明内容（概要）

長岡市議会は、長岡駅前のシティーホールプラザ「アオーレ長岡」内にあり、1階に配置された議場は、全体が見渡せる円形すり鉢状となっており、天井には長岡花火をイメージさせる新潟県産の木パネルを飾るなど、特色ある議場空間を演出している。2階には、一般傍聴席、車いす傍聴席及び親子傍聴席を設置し、傍聴環境の向上を図っている。

また、近年の議会改革・活性化の取組として、平成29年6月に議会活性化特別委員会を設置し、通年議会の導入の検討など、議会の活性化の推進を図っている。

主な具体的な取組は、次のとおりである。

1 議会施設について

平成24年4月にオープンしたシティーホールプラザ「アオーレ長岡」は、市役所、5,000人を収容できるアリーナ、ナカドマ（屋根付き全天候型広場）が一体となった複合型施設である。その他に49席を有するシアター、市政・観光情報などを映す300インチ大型ビジョン、市民協働センター、市民交流ホールなどを有しており、市民交流の拠点となっている。

議会施設は、アオーレ長岡の西棟に配置している。議場は、市民に開かれた議会を目指し、アオーレ長岡の中央に位置するナカドマに面した1階に配置し、2階に傍聴席、4階に正副議長室、委員会室、会派控室、応接室、議会図書室、議会事務局を配置している。また、会議中継用にハイビジョンカメラを設置し、本会議は、ケーブルテレビ、ラジオ、インターネット放送を、常任委員会、ケーブルテレビ、インターネット放送を、特別委員会はインターネット放送を実施している。

なお、議場については、市民に開かれた議会の実現に向け、議会の会議以外での利用を認めており、東京フィルハーモニー交響楽団のコンサート、小学校児童による子ども議会の開催、福祉イベントのすこやか・ともしびまつりの表彰式会場としても利用している。



議場

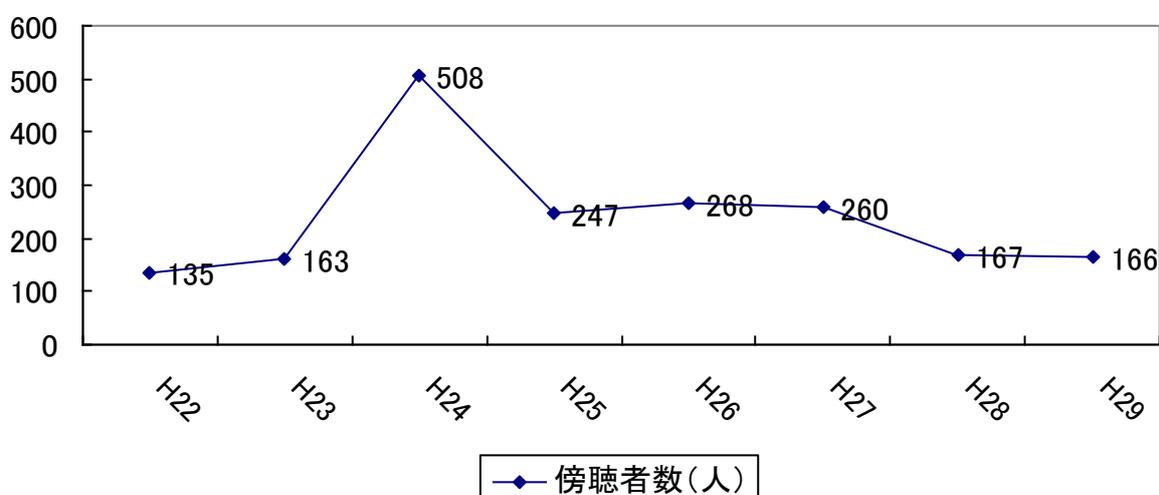
2 親子傍聴席について

傍聴席は、一般傍聴席65席、車いす傍聴席2席、親子傍聴席1室（10人分）を設置している。親子傍聴席は、一般傍聴席や車いす傍聴席に隣接した別室に配置し、室内は防音処理を施し、議場側は全面ガラス張りとなっており、児童・乳幼児同伴（ベビーカー可）で傍聴できるよう整備している。



親子傍聴席

○傍聴者数の推移（年別）



3 近年の議会改革・活性化の取組について

(1) 議会活性化特別委員会（平成24年3月～平成26年8月）

新たな議会施設が整備されたことを契機に議会のあり方を見直すこととなり、平成24年3月に議会活性化特別委員会を設置した。平成26年8月までの2年6か月の間に計28回の委員会を開催し、議会活性化について様々な観点から議論を行った。協議の結果、決定した項目は次のとおりである。

| 時期 | 内容 |
|----------|--------------------------------|
| 平成24年12月 | 議決対象の拡大(総合計画基本構想、姉妹都市等の提携・変更等) |
| 平成25年6月 | 一般質問の方式を分割質問及び一問一答方式の導入 |
| 平成25年9月 | 決算審査特別委員会の審査時期変更 |
| 平成26年3月 | 政務活動費の改善(平成27年5月から実施) |
| 平成26年6月 | 常任委員会のケーブルテレビ放送実施 |
| 平成26年9月 | 議員定数削減(38人→34人 平成27年5月から) |

(2) 議会活性化特別委員会（平成29年6月～現在）

前回の議会活性化特別委員会から3年が経過し、その間の状況変化も鑑みながら

先の特別委員会で結論に至らなかった4項目に新たな項目を追加し、平成29年6月、新たに議会活性化特別委員会を設置した。主な検討項目及び検討状況は次のとおりである。

| 項目 | 内容 | 経過 |
|-----------------|---|-------------------------|
| 情報通信機器の活用 | 公費によるタブレット端末整備 端末の議場への持ち込み | 平成30年7月導入 |
| 通年議会の導入 | 通年議会の導入 | 見送り |
| 議会基本条例の制定 | 議会基本条例の制定 | 平成31年3月制定予定 |
| 本会議のあり方 | ①休日等議会の開催の拡充 ②代表質問制導入の可否 ③予算議会時における一般質問通告期間の変更 ④請願、陳情締切日の変更 ⑤追加提出議案(人事案件)の当日配付の是正 | ①②見送り ③現状維持 ④⑤検討中 |
| 常任委員会・特別委員会のあり方 | 請願等参考人招致の検討 特別委員会における中間報告及びその他運営 | 検討中 |
| 議員の調査・政策立案 | 公費(議会費)による海外視察 | 検討中 |

主な質疑応答

質問 親子傍聴席の利用状況は。

回答 利用状況の明確な記録をとっていないが、1定例会につき1組程度の利用である。

質問 議会の会議以外における議場の使用についての規定はあるか。

回答 規定は無いが、市が共催をしている行事であるかどうかなどは確認をしている。団体からの使用の相談を受け、会派代表者会議において使用の可否を協議し、決定している。

質問 平成24年3月設置の議会活性化特別委員会の検討項目のうち、一般質問の方式を分割質問及び一問一答方式の導入とあるが、分割方式とは。

回答 従前の長岡市議会の質問方式は、すべて一括質問一括答弁方式であった。分割質問とは、初めは登壇して一括質問を行い、その後は質問席で一問一答方式で行うというものである。

質問 平成29年6月設置の議会活性化特別委員会の検討項目のうち、休日等議会の開催の「拡充」とあるが、休日議会は既に開催しているのか。

回答 平日の夜間議会、休日議会の開催について議論をしたが、会議については、インターネット配信やケーブルテレビ放送など会議の視聴環境が充実していること、休日等に開催をしても、どれくらいの方が傍聴に来られるかは未知数であることから、実施については見送ることとなった。

- 質問 平成29年6月設置の議会活性化特別委員会の検討項目のうち、通年議会の導入については、見送りという結果であるが、どのような議論がされたのか。
- 回答 長岡市は、市域が891.06km²と広域であり、通年議会とした場合に招集が困難であること、臨時議会の開催により対応が可能であること、委員会活動の活性化が考えられるが、議会の議決により調査が可能であることなどの意見があり、現状のままで何ら問題がないという結論に至った。
- 質問 政務活動費の透明性の確保についての取組として、平成31年5月からの予定で、「減価償却制度を参考にした按分率を用いた高額物品への政務活動費の充当」とあるが、内容は。
- 回答 長岡市議会では、政務活動費として月額一人当たり6万円を交付している。議員の任期後半に物品を購入することも可能ではあるが、任期後の議員個人の資産形成に資する可能性もあることから、任期の残存月数の割合に相当する額についてのみ、政務活動費を充当することができるものとした。
- 質問 常任委員会への当局の出席者は。
- 回答 長岡市議会では、市全体に関わる質問は一般質問とし、細部にわたる質問については、常任委員会の初めに議員1人20分の持ち時間で所管事項に関する質問を行っている。所管事項に関する質問については、市長、副市長、部課長が出席し、所管事項に関する質問が終了後、市長は退席となる。
- 質問 予算特別委員会、決算特別委員会の設置は。
- 回答 予算については常任委員会に付託している。決算については、議員17名で構成する特別委員会を設置し、審査している。なお、審査日数は3日間である。
- 質問 市議会政策検討会議は、常時設置しているのか。
- 回答 条例の制定等の検討事項がある議員は、委員会の設置について議長へ申し出て、会派代表者会議での決定により設置するものである。現在は、スポーツ振興条例（仮称）制定検討委員会を設置しており、他のテーマがあればその都度、設置するものである。

調査結果のまとめ

- ・ 議会施設は、市役所やアリーナなどの複合施設内にあり、議場の配置や設備など工夫を凝らした素晴らしい空間が整備されているが、傍聴者の増加に結びついておらず、残念に思った。
- ・ 親子傍聴席は、防音処理を施すなど、乳幼児同伴で気軽に傍聴することができるよう整備されているが、傍聴者が1定例会に1組程度と利用が少ないことから、現時点では関市議会の議場に整備する必要性を感じなかった。

- ・議会活性化の取組として、平成27年に市議会政策検討会議の申し合わせがされている。議員提案による政策条例の制定について、議員から提案があった際に、内容に応じて政策検討委員会を設置し、検討することをルール化しており、議員の政策立案能力の強化という観点から良い取組であり、参考になった。
- ・議会活性化委員会において、議会の活性化に関する各種項目について検討された結果、新たに導入した項目もあれば、見送りや現状維持といった改革が進まないものもあるが、委員会を数多く開催し、議員が意見を交わすことが重要であり、活性化に繋がっていると感じた。
- ・長岡市議会では、代表質問は実施されていなかったが、一般質問の方式を一括質問・一括答弁方式、分割質問・一問一答方式の選択制を導入しており、関市議会の代表質問も一括質問・一括答弁方式、分割質問・一問一答方式の選択制の検討も必要であると感じた。